



からだにいいはなし

## 肝臓のおはなし

健康診断や医療機関で血液やエコーなどの検査で肝臓機能の異常や脂肪肝を指摘された方は、多いと思います。今回から肝臓の機能や病気についてわかりやすくおはなしさせていただきます。

肝臓は沈黙の臓器といわれています。それは、肝臓には再生能力や代償能力が強く、ダメージを受けても他の正常な肝細胞が余分に働き、機能を維持するからです。そのために、異常があっても気づかずに気がついた時には病気がかなり進行していたというケースがあります。

肝臓にはさまざまな機能があり、まず一つ目は代謝機能。体に取り入れたいろいろな栄養素を分解したり、合成したりして体内で利用できるものに作り変える機能。

二つ目は解毒作用。食べ物や飲み物の中に栄養となるもの以外に有毒なものが含まれている時には、有害物質の多くは腸から吸収され肝臓に集まります。

そして、肝臓で解毒され、これらは無毒化して体外に排出されます。その中にアルコールの分解があり、アルコールはほとんど肝臓で代謝されます。それからアセトアルデヒドに分解されその後、酢酸からさらに水に分解されます。飲みすぎでアセトアルデヒドが蓄積されると二日酔いや肝機能障害の原因となります。

三つ目は消化。肝臓内で胆汁という消化液を作る機能。胆汁には腸内での脂肪分解・吸収に必要で腸の動きをよくする作用をもっています。

四万十町国保大正診療所

高芝俊二・大川剛史

# がん検診を受診しましょう

がんは、死亡原因として最も多い病気ですが、早期発見・早期治療で治るものもあります。そこで今回は、町の実施する検診の受診状況等についてお知らせします。

## 平成23年度 各種がん検診受診状況(全体)

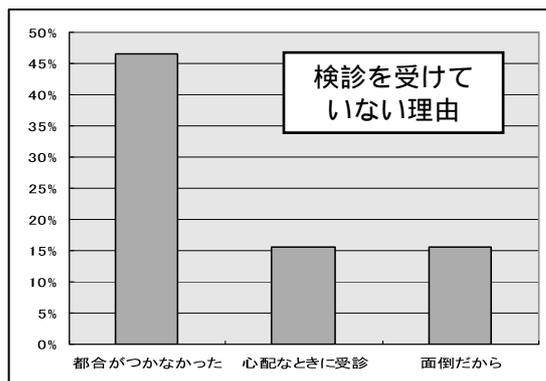
検診種類	肺がん	胃がん	大腸がん	前立腺がん	子宮がん	乳がん
受診率	69.0%	16.3%	22.2%	85.9%	23.7%	10.5%

\*それぞれの検診について欠診届けがあった方は対象者から削除して計算しています。  
\*前立腺がん検診は、特定健診受診者を対象として計算しています。

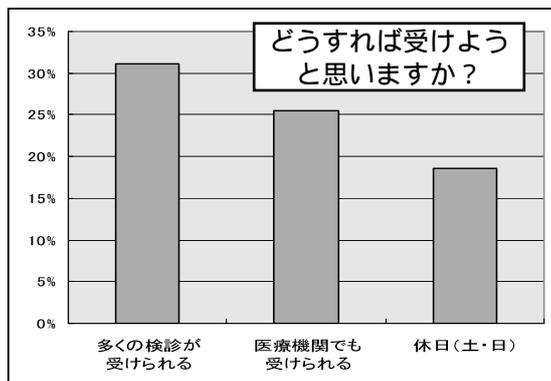
肺がん検診の受診率は高いですが毎年減少傾向にあります。また、前立腺がん検診は平成22年度から特定健診時に単独で受診できるようになり、21年度72.7%でしたが、23年度は85.9%と、年々増加傾向、他の検診の受診率は、平成21年度、22年度とほぼ同様の受診率です。

昨年度実施したアンケートの結果、町の検診をひとつも受けていない方の約36%の方は町のがん検診以外の機会に検診を受けている事がわかりました。

また、検診を受けていない理由と、受診への希望は、グラフのような回答が得られました。



平成24年度の検診では、「女性特有のがん検診推進事業」を今までどおり継続していきます。対象者には町からクーポン券が送られますので、ぜひ受診をお願いします。前年度に引き続いて、今年度も会場のとれる一部の地域で、肺がん・胃がん・特定健診・子宮がん・乳がんを同じ日に受けられるようにしています。



また、予定の日に関わらず都合のつかない方等の検診として休日検診を予定しています。早期発見のため、年に1回は各種がん検診を受診しましょう。

【お問い合わせ先】 健康福祉課 22-3115